

令和6年(2024年)10月16日

保護者の皆様

札幌市立札幌中学校
校長 鈴木 伸和

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育に関しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、4月に行われた全国学力量習状況調査につきまして、本校の結果に伴う概要がまとまりましたので、ご報告いたします。本校ホームページに掲載しておりますので、そちらにてご覧ください。

[札幌中学校ホームページ](#)

<https://www16.sapporo-c.ed.jp/view/satsunae-j/home/index/gakugaku>



【本年度の調査の概要】

◆目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一面側面であることに十分に配慮することが必要である。

◆調査対象 中学校第3学年

◆調査日時 令和6年4月17日(水)、18日(木)

◆調査事項

1 教科に関する調査(国語・数学)

出題範囲は、調査する学年の全学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容はそれぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等

調査問題では、上記の後意を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

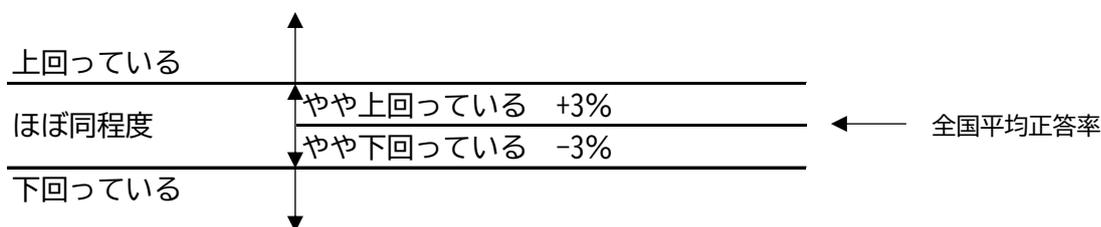
2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

R6 国語科 全国学力・学習状況調査結果分析

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
知識及び技能	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	・表現の技法について理解しているかどうかをみること。	・言語活動の中で言葉の特徴などに気付くことや、学習したことを話したり聞いたり、書いたり読んだりする場面に生かすことを意識しながら学習できるようにする。
	「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみること。	・文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるよう指導する。
	「我が国の言語文化に関する事項」 ▼全国平均より下回っている。	・行書の特徴を理解しているかどうかをみること。	・身の回りの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くよう指導する。
思考力、判断力、表現力	「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	・話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみること。	・話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて、自分の考えをまとめることができるよう指導する。
	「書くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	・目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみること。	・集めた情報を分析したり、時間的な推移や原因と結果などの関係に基づいて、整理させたりして書くよう指導する。
	「読むこと」 ▼全国平均より下回っている。	・目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみること。	・生徒一人一人の理解や解釈が適切であることを検討する場面を設定し、必要に応じて修正したり更新したりできるように指導する。

◎全国平均との比較について

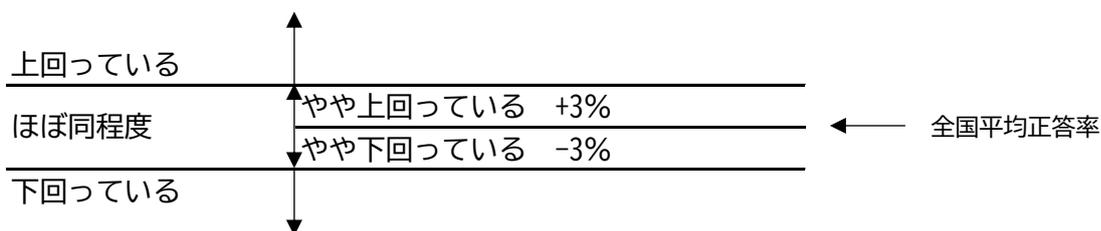


※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R6 数学科 全国学力・学習状況調査結果分析

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	「数と式」 ▼全国平均より下回っている。	・文字を使用して、常に事柄が成り立つ理由を説明することができること。	・文字を用いて事柄が説明できることの有用性を実感させ、なぜ文字を用いて説明しなければならないのかを大切に、説明できるよう指導する。
	「図形」 ▼全国平均より下回っている。	・図形の性質をすでに認められた根拠を基に論理的に証明することができるかどうかをみること。	・図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し、表現する能力を伸ばすよう指導する。
	「関数」 ▼全国平均より下回っている。	・一次関数の直線のグラフについて、傾き、切片の特徴を理解し適切に表現できるかこと。	・中学校で学習する各関数の特徴を表、式、グラフで表した時の特徴を理解し、表現できる能力を伸ばすよう指導する。
	「データの活用」 ▼全国平均より下回っている。	・箱ひげ図の意味を理解しているかどうかをみること。	・箱ひげ図の基本を理解し、データの分布の傾向を比較して読み取る力を伸ばすよう指導する。

◎全国平均との比較について



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R6年度 全国学力・学習状況調査結果【生徒質問紙調査より】

肯定的な回答が80%以上のもの

※パーセントの数値は肯定的な回答の割合を示しています。

項目	質問内容	札幌中	全国
1	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	95.4	93.9
2	国語の勉強は大切だと思いますか	93.6	93.9
3	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.7	95.2
4	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	91.8	89.0
5	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.8	92.5
6	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.7	90.6
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	90.8	95.7
8	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	89.9	89.0
9	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.1	90.1
10	国語の授業の内容はよく分かりますか	86.2	82.7
11	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	86.2	90.4
12	朝食を毎日食べていますか	85.3	91.2
13	友達関係に満足していますか	85.3	90.1
14	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる	84.4	82.4
15	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	84.4	92.3
16	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	84.4	91.7
17	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	82.5	82.0
18	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	81.6	89.8

肯定的な回答が50%以下のもの

項目	質問内容	札幌中	全国
19	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ※1時間以上	46.8	64.3
20	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) ※1時間以上	46.8	63.0
21	数学の勉強は好きですか	45.0	57.2
22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く) ※100冊以上	38.5	28.3
23	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	33.0	57.2
24	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	26.6	46.0
25	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く) ※1時間以上	11.0	16.6
26	新聞を読んでいますか(月に1回程度以上)	10.1	17.0

【人間尊重の教育に係る視点】

- 基本的な生活習慣についての項目について、肯定的な回答が多く、ご家庭でのルール、習慣作りが大きく関与しているものと思われます。（項目5,12）
- いじめは決して許されないことや、人が困っている時には助けてあげようという気持ちをもつことについて多くの生徒が肯定的な回答をしています。これらはどんな時代においても大切であることに変わりません。今後も家庭、地域との連携はもとより、札幌市学校教育の重点の基盤である「人間尊重の教育」を推進し、子どもたちの成長をとめないよう努めてまいります。（項目7,9）
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う子どもの割合は、前回調査と比べ、9.3%増加しています。（項目11）
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある子どもの割合は、前回調査と比べ、1.5%増加しています。（項目18）

◇札幌市学校教育の重点の基盤である「人間尊重の教育」を推進してきた成果が表れてきています。今後も「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を関連させて取り組み、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに努めてまいります。

【課題探究的な学習に係る視点】

- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると、8割以上の子どもが回答しています。（項目15）
- 他者との対話に多くの生徒が価値を見出しています。今後も、課題探究的な学習や自治的な活動などにおいて、協働し、自己の学びを深める機会を創出していきます。（項目16）
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う子どもの割合は、前回調査とほぼ同程度であり、全国平均と比べると、12%下回っています。

◇AARサイクル※の視点で、子ども一人一人の主体性を大切にした課題探究的な学習を推進してきた成果が表れてきています。

◆AARサイクルにおけるリフレクション（振り返り）の場を一層充実していく必要があります。

※Anticipation（見通し）、Action（行動）、Reflection（振り返り）からなる反復的な学習プロセス（OECDラーニングコンパス2030より）

◇今後も、学習内容を確実に身に付けることができるよう、子ども一人一人の学習状況を丁寧に捉えるとともに、協働的な学びと個に応じた指導の一体化を充実していけるよう努めてまいります。

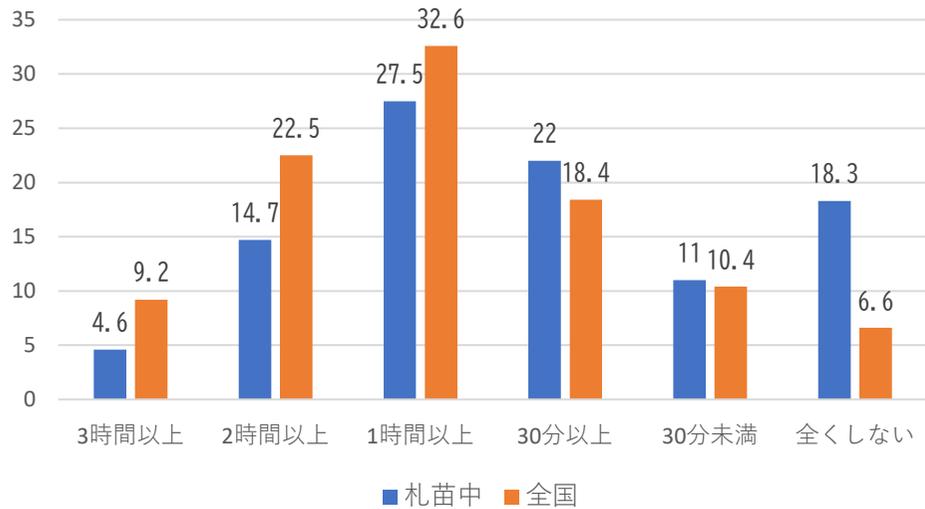
【ICTの活用に係る質問】

- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用していると回答した子どもの割合は、前回調査と比べ、10.9%増加しており、全国平均を上回っています。（項目4）
- 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を楽しみながら活用していることに対し、多くの生徒が肯定的な回答をしており、全国平均を上回っています。（項目14）

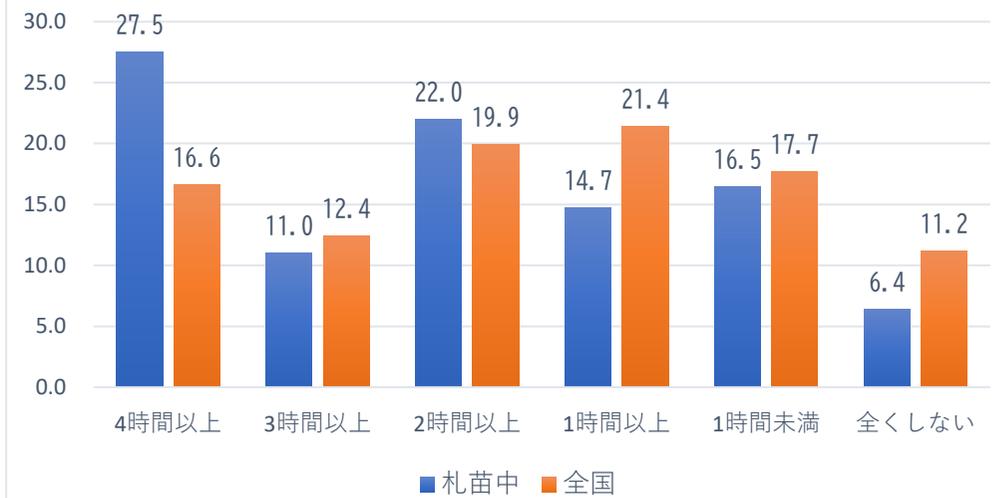
◇「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」と回答した子どもの割合は90%を超えており、調べる場面での活用が進んできています。

◆「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」（6）「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」と回答した子どもの割合は、80%未満となっており、目的や相手意識を明確にして、表現したり共有する活動をより一層充実することができるよう努めてまいります。

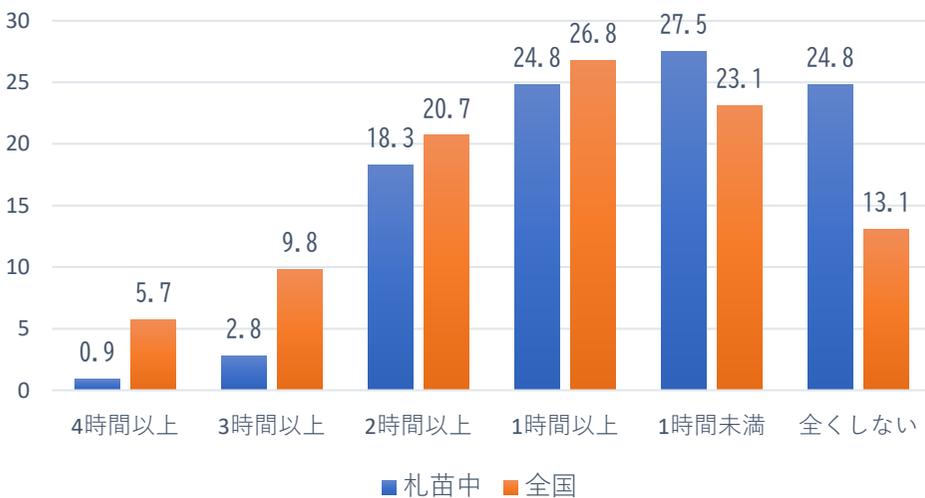
項目21 学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



項目5 平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



項目22 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



項目6 平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

